

第1回練馬光が丘病院 運営連絡協議会 平成24年10月30日

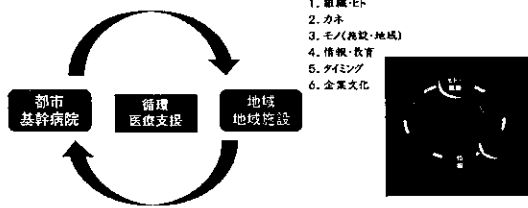


1. 地域医療振興協会のご紹介



公益社団法人地域医療振興協会の目的

地域医療振興協会が考える地域医療とは
住民、行政、医療人が一体となって、限られた医療資源を最大限に活かし、担当する地域の保健・医療・福祉を継続的に、計画・実践・評価するプロセス



地域医療振興協会とは

設立等	昭和61年5月15日自治医科大学学生が中心となって設立 許可=厚生労働大臣・総務大臣 平成21年12月1日 公益社団法人として登記
会員数	正会員1,596人、賛助会員38団体+10個人 (平成23年4月現在)
目的	八ヶ岳を中心とした地域保健医療の調査研究及び地域医学知識の啓蒙と普及を行うとともに、地域保健医療の確保と質の向上等住民福祉の増進を図り、もって地域の発展に寄与することを目的とする
事業	(1) 医学生への八ヶ岳地域医療研修活動の指導 (2) 八ヶ岳地域における診療活動基準の研究と確立 (3) 総合医の確保及び育成 (4) 医療情報の提供 (5) 地域保健医療に関する研究会及び講習会の開催 (6) 八ヶ岳地域に勤務する医師等の確保紹介及び派遣 (7) 関係行政機関との連絡・調整 (8) 会報・会誌の発行 (9) 八ヶ岳等に勤務する医師の確保等八ヶ岳等の医療を支援する病院等の誘致及び運営管理の委託 (10) 八ヶ岳等の医療を支援する病院等に勤務する看護師等を養成するための学校設置等事業の賛助事業 (11) その他前条の目的を達成するために必要な事業



会長 尾久史樹
日本医学会会長
自治医科大学前学長



理事長 吉野通康

2. 練馬光が丘病院の概要



練馬光が丘病院 理念・基本方針

1. 理念
皆様とともに地域の発展に貢献いたします。
2. 基本方針
 - ① 救急医療、小児医療、周産期医療、災害時医療を含め、急性期医療の充実に努めます。
 - ② 地域の住民、医療機関等との連携を図り、地域医療を推進します。
 - ③ 医療安全、サービスの向上に努めます。

病院概要

[開設者及び運営者]

公益社団法人 地域医療振興協会

[機能・規模]

342床

[診療科目]

内科・循環器内科・小児科・神経内科精神科・外科
呼吸器外科・整形外科脳神経外科・心臓血管外科
産婦人科泌尿器科・皮膚科・眼科・耳鼻いんこう科
救急科・リハビリテーション科・麻酔科・放射線科
病理診断科

4つの重点医療1 ～救急医療①

(1) 休日夜間の診療体制

- ・ER 勤務医師2人以上
- ・内科系 当直医師1人以上、オンコール医師1人
- ・外科系 当直医師1人以上、オンコール医師1人
- ・小児科 当直医師1人以上、オンコール医師1人
- ・産科 当直医師1人、オンコール医師1人
- ・ICU 当直医師1人、オンコール医師1人

4つの重点医療1 ～救急医療②

(2) 救急機能の拡充

- ・血管造影撮影装置更新(6月末完了)
⇒循環器疾患への幅広い対応が可能に
- ・ICU改修工事(7月末完了)
⇒より重症な患者様への対応が可能に
- ・内視鏡センター充実(10月～)
⇒10月より消化器内科医師4名が入職し、
緊急内視鏡を含む処置等を充実
⇒内視鏡センター改修工事を12月完了予定
- ・救急室拡張工事(11月上旬完了予定)
⇒救急患者の初療対応等をより充実

4つの重点医療2 ～小児医療①

(1) 診療体制

- ・常勤医師6人
- ・非常勤医師7人(常勤換算約2人)
- ・外来は複数医師体制(2～3人)にて診療
- ・休日時間外も常時小児科医を配置し、
24時間365日体制にて対応

4つの重点医療2 ～小児医療②

(2) 患者数

- ・外来 1日平均30.1人(9月の平均)
- ・入院 1日平均13.2人(9月の平均)
⇒外来、入院とも、現在の診療体制において
患者様の受け入れに若干余裕あり
⇒より多くの患者様に来院いただけるよう
地域の方々との信頼熟成を図る
⇒患者増に備え、増員による体制強化を図る

4つの重点医療3 ～周産期医療①

(1) 診療体制

- ・常勤医師3人
- ・非常勤医師2人(常勤換算約0.5人)
- ・4月より妊婦健診、9月より分娩受入開始
⇒9月はオンコール1人体制
⇒10月より当直1人+オンコール1人の体制

(2) 施設整備

- ・LDR2室を整備
⇒従来からの分娩室の他、田陣痛室を分娩室に
⇒陣痛から回復期まで同室で過ごせるLDRとした

練馬が丘病院

4つの重点医療3 ～周産期医療②

(3) 周産期セミオープンシステム

- ・妊娠前期～中期は地域の診療所等にて健診を受け、後期は分娩設備の整備された病院で受診、分娩するシステム。各診療所等の特長を活かしていただき、妊婦さんの利便性を高められること等がメリット。
- ・練馬区周産期医療連携協議会を開催(10月23日)
⇒地域の診療所、助産院の方々にシステム内容を案内
- ・12月1日以降が出産予定日の妊婦さんを対象に登録を開始

練馬が丘病院

4つの重点医療4 ～災害時医療①

(1) 日大光が丘病院の機能維持

- ・災害拠点病院として、練馬区、東京都の防災計画に協力
- ・災害医療に必要な機器、備品、備蓄を整備
- ・病院近隣に職員宿舎を整備し、災害時にも医師、看護師、医療技術職員が勤務できる体制を確保

(2) 事業継続計画(BCP)の策定

- ・今後、BCPを策定し、想定される災害類型毎に最適な対応をとれる体制を構築する。
- ・これにより、地域全体の危機管理体制向上に貢献する。

練馬が丘病院

人員体制1 ～医師の体制①

(1) 開院時～現在

- ・4月 常勤66人、非常勤51人(常勤換算約12人)
常勤換算合計78人
- ・10月 常勤71人、非常勤51人(常勤換算約12人)
常勤換算合計83人
⇒4つの重点医療遂行及び現在の外来、入院の患者様については対応可能

練馬が丘病院

人員体制1 ～医師の体制②

(2) 今後の見込みと目標

- ・25年1月見込
常勤換算87人(現人員+入職予定者)
- ・25年4月目標
目標は常勤換算100人程度
⇒4つの重点医療を確実に遂行するとともに、地域の中核病院として高度な診療機能を拡充する

練馬が丘病院

人員体制2 ～看護師の体制①

(1) 開院時～現在

- ・4月 常勤163人、非常勤3人(常勤換算約2人)
常勤換算合計165人
- ・10月 常勤179人、非常勤5人(常勤換算約3人)
常勤換算合計182人
⇒9病棟中、ICUを含め6病棟(209床)稼働

練馬が丘病院

人員体制2 ～看護師の体制②

(2) 今後の見込みと目標

- ・25年1月見込
常勤換算200人以上
⇒夏以降、増員は概ね月間10人
⇒9病棟中7病棟(255床)稼働(11月予定)
⇒2月を目途に1病棟開き、8病棟(302床)稼働
- ・25年4月目標
目標は常勤換算250人程度
⇒全病棟(342床)稼働予定
⇒看護基準を早期に7対1とする

線馬  が丘病院

地域への貢献を目指し、職員一同
診療及びサービス提供に精一杯取り
組んで参ります。

今後ともご指導、ご支援いただけ
ますよう、よろしく願いいたします。

